

# Coffee Scale Mug

コーヒースケールマグ

## 取扱説明書

お買いあげ誠にありがとうございます。正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになりましたら、大切に保管してください。

製品についてのお問い合わせ先

### HARIO株式会社

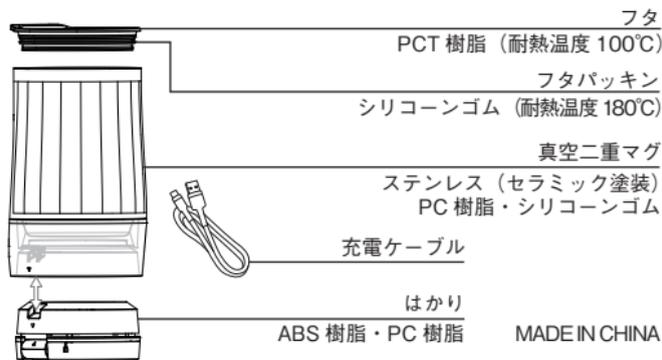
〒103-0006東京都中央区日本橋富沢町9-3

フリーダイヤル:0120-39-8208

[https:// www.hario.com](https://www.hario.com)

STS-300 説明書 2106

各部の名称と材質について



### 精度保証範囲

- 本製品は計量法で定められた技術基準に基づいて製造、検査しております。ご使用の場合は計られた重さに対し、下記の範囲で精度を保証いたします。(使用場所の温度23°C±5°Cの場合)

計る量	精度
0.1～200 g 以下	± 0.2 g
200 g 超え500 g 以下	± 0.5 g
500 g 超え2000 g 以下	± 1 g

※計量範囲は0.1g～2000gになります。

- 本製品は家庭で使用されるために作られたものです。品物の売買取引や、公にその重さを証明する場合には使用しないでください。
- 各地域の重力値には若干の差があります。高精度のはかりは、この影響により誤差が発生することがあります。

### 製品仕様

はかり

計量範囲 0.1g～2000g

最小表示 0.1g～1000g 以下:0.1g 1000g 超え～2000g 以下:1g

### 真空二重マグ

- △ 電磁調理器や電子レンジでご使用になれません。
- △ お子様をご使用になる際は、取扱い上の注意をご指導の上、一人では扱わせないようにしてください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ご使用前には洗浄をしてください。● フタは本体を密閉するものではありません。横にすると飲み物がこぼれますので、飲み物を入れたままカバン等に入れて持ち運ばないようにしてください。● 火気のそばで使用しないでください。● 製品に強い衝撃・振動を与えないでください。漏れや保温保冷効果の低下の原因になります。● 冷凍庫に入れしないでください。● 熱いやかんなどを口金にあてないでください。● 乳幼児のいたずらに注意してください。● 不安定な場所に置かないでください。倒れて飲み物がこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。● 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。● 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。腐敗や変質の原因になります。● 大きな水を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。キズや漏れの原因となります。● 次の物は絶対に入れないでください。＜ドライアイス・炭酸飲料など＞内圧が上がり、フタが開かなくなったり、フタが破損して飛び散ったり、飲み物が吹き出るなど、けがや周囲を汚す原因になります。＜牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの＞そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、フタが開かなくなったり、フタが破損して飛び散ったり、飲み物が吹き出るなど、けがや周囲を汚す原因になります。● ドリッパーをのせて使用する際は転倒に注意してください。● ドリッパーの種類によってはうまくのらない場合があります。その場合は無理に使用しないでください。

### はかり

- △ はかりは精密機械です。落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- △ はかりは付属の真空二重マグ以外も計量可能ですが、計量皿よりも小さいものの計量にのみご使用ください。
- △ ロックした状態で保管してください。
- △ 平らな安定した滑らない場所でご使用ください。不安定な場所で使用は正しい重さが表示されなかったり落下の危険があります。
- △ はかりのすき間に指を入れないでください。けがをするおそれがあります。
- △ 高温になる場所に置かないでください。機器の表面が劣化するほか、火災の原因になることがあります。ストーブなどの過熱器具の近く、直射日光の当たるところには放置しないでください。
- △ 湿気や磁気の多い場所に置かないでください。湿気や磁気の多い場所に置かないでください。故障の原因になります。
- △ 加熱、分解、改造、水中での使用はしないでください。故障の原因になります。

## 使い方

	操作	表示/状態
電源オフ	液晶パネルを閉じる	なし
電源オン	液晶パネルを開く	ロック画面/計量表示
ロック機能 (はかり)	ロックする	ロック画面が表示される。計量不可
	ロックを解除する	計量可能
自動電源オフ	15分間操作無し	タイマーも停止
TIME ボタン	タッチする	カウントをスタート/カウントを一時停止
	2秒長押し	カウントをリセット
MODE TARE ボタン	タッチする	重量/タイマーをリセットする
	2秒長押し	カウントモード変更: 手動/自動

### 充電方法

● はかり本体の液晶パネルを開き、タイプC USB充電ポートに付属の充電ケーブルのタイプC USBプラグを接続します。もう一方のUSBプラグをパソコンのUSBポートやUSBアダプタに接続します。

⚠ 充電中はコーヒードリップなど水を使う作業に使用しないでください。本体や充電機器に水がかかった場合、感電や故障する恐れがあります

### ⚠ 充電式電池についてのご注意

- 長期間使用しないと、電池が劣化することがあります。
- 長期間保管された後に再びご使用される際は、自然放電している場合がございますので十分に充電をしてからご使用ください。
- 本製品の電池は交換することが出来ません。充電ができなくなったリ、フル充電後も使用可能時間が極端に短くなった場合は新しい製品をご購入ください。
- ショート、分解、加熱、火に入れないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 製品廃棄の際には、下記の手順で充電式電池を取り外し、各自自治体の指示に従い処分してください。リチウムポリマー電池を取り出す前に電池残量が無いことを確認してから取り外してください。

⚠ 製品を破棄するとき以外は、絶対に分解しないでください。

- ① はかり液晶パネル底部の滑り止めシリコンゴムを取り、+ねじを3箇所緩めてください。
- ② はかり液晶パネル底部をはずし、リード線コネクタをはずし、リチウムポリマー電池を取りだしてください。  
※取り外したリチウムポリマー電池はショート防止のためにリード線コネクタに絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店に設置してある「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。

- ① 真空二重マグがはかり本体に取り付けられた状態で液晶パネルを開き、電源をオンにします。(はかり本体電源のオン/オフ参照)
- ② 平らな台の上に置き、真空二重マグを反時計回りに回転させロックを解除します。はかり本体ロック機能について参照)
- ③ ドリッパー・ペーパーフィルターを真空二重マグの上にセットし、MODE/TAREボタンを押します。液晶表示が0.0gになっていることを確認してください。
- ④ コーヒー粉の重量を計測しMODE/TAREボタンを押します。
- ⑤ ゆっくり湯を注ぎ、湯の重量を計りながらコーヒーを抽出します。
- ⑥ 抽出を終えたらMODE/TAREボタンを押し、タイマー・重さ表示をリセットします。
- ⑦ 液晶パネルを閉じ、はかり本体電源をオフにします。真空二重マグ使用後ははかり本体に取り付け、時計回りに回転させロック状態にして保管してください。

MODE/TAREボタン  
で切り替え

手動カウントモード (通常)



自動カウントモード



※お湯を注ぎ始めると自動でカウントを開始します。

バッテリー残量表示



充電中表示 (点滅)  
※充電終了時はバッテリー  
残量表示に切り替わります。

⑤-1 手動 カウントモードの場合  
湯を注ぎ始めると同時にTIMEボタンを押し、抽出時間を計測します。

⑤-2 自動 カウントモードの場合  
湯を注ぎ始めると自動で抽出時間の計測が開始します。



時間表示  
(mm' ss'')

重さ表示  
(g)

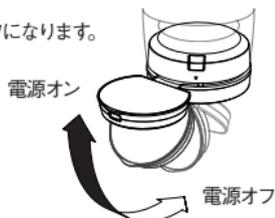
TIMEボタン

MODE/TAREボタン

タイプC USB充電ポート

液晶パネルを開くと電源オン、閉じると電源オフになります。

△保管・持ち運びの際にはかならず  
液晶パネルを閉じた状態にしてください。

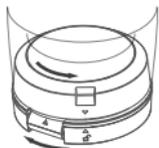


### はかり本体ロック機能について

#### はかり本体のロックを解除する

上の▽マークが□に合っているとき、はかりのロックが解除されています。はかりのロックが解除されている状態のときはマグネットが無効となり、真空二重マグを取り外すことができます。

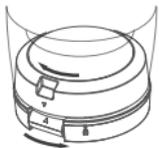
△ロック状態のときはマグネットが有効です。真空二重マグが磁力で保持されている状態のときは無理に取り外さないでください。はかり本体の故障・破損の原因となります。真空二重マグをはかり本体から取り外す際は、必ずロックを解除してから取り外してください。



#### はかり本体をロックする

上下の△マークが合っているとき、はかりはロックされています。はかりがロックされている状態のときはマグネットが有効となり、真空二重マグが磁力で保持されます。※ロック状態でのとき、液晶にはロック状態を示す鍵マークが表示されます。この状態では計量を行うことはできません。

△はかりの破損を防ぐため、保管・持ち運びの際には必ずロック状態にしてください。



#### 真空二重マグ

- 本体（外側）：お湯で薄めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませて、固く絞り、汚れを拭き取った後、柔らかい布でからぶきをしてください。金属タワシ等は使用しないでください。
- 本体（内側）：お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジブラシに含ませて洗い、十分乾燥させてください。※汚れなどが付着していたり、飲みものを長時間入れたままにしていると臭いが発生する場合があります。臭いが気になる場合には、酸素系漂白剤を使用し流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。この時、フタは閉めないでください。内圧でフタに負荷がかかり破損する危険があります。塩素系漂白剤は使用しないでください。
- フタ：パッキンを取り外して、お湯で薄めた食器用洗剤に浸した、柔らかいスポンジで洗浄してください。その後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでから乾燥させてください。パッキンも同様に洗浄してください。
- サビのような赤い斑点が出来た場合：水に含まれる鉄分などが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、本体の内側をよく洗ってください。その後、食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。
- ガラガラしたものが付着した場合：水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、フタを取り付けず、3時間ほど放置した後にやわらかいスポンジなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。その後、クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。
- つけ置き洗い、食器洗い乾燥機のご使用はできません。
- 洗浄後は、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。長時間使用しないときは十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所で保管してください。
- シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾等は使用しないでください。
- フタのパッキンはお手入れ後必ず取りつけてください。

#### はかり本体

- 本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をふきんにつけて拭き取ってください。
- お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。変色、変質するおそれがあります。